

平成 14 年 8 月 21 日
 農林水産省農村振興局整備部農村整備課
 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課
 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

汚水処理施設連携整備事業の実施状況等について

汚水処理施設連携整備事業（以下「事業」という。）は、公共用水域における水質保全効果がより一層促進されると見込まれる市町村を認定し、市町村が作成する連携整備事業計画に基づき、下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽等各種汚水処理施設整備を5カ年間にわたり重点的に実施する事業制度である。

農林水産省、国土交通省、環境省（以下「三省」という。）では、平成9年度より事業を実施し、平成14年度までに36市町村を認定しており、事業実施市町村でそれぞれの汚水処理施設の特色を生かして連携することにより、効果的かつ効率的な汚水処理施設の整備を図っているところである。

年 度	認 定 市 町 村 名		
平成9年度認定 (平成13年度終了)	静岡県 袋井市	岐阜県 美濃市	愛知県 常滑市
	三重県 菰野町	三重県 阿児町	兵庫県 西脇市
	兵庫県 加西市	兵庫県 吉川町	兵庫県 稲美町
	島根県 安来市	岡山県 中和村	広島県 黒瀬町
平成10年度認定	神奈川県 藤野町	和歌山県 橋本市	岡山県 新見市
	長崎県 諫早市	長崎県 琴海町	
平成11年度認定	富山県 婦中町	三重県 美里村	
平成12年度認定	千葉県 小見川町	三重県 玉城町	京都府 舞鶴市
	山口県 橘町		
平成13年度認定	茨城県 小川町	静岡県 御殿場市	愛知県 渥美町
	愛知県 一宮町	沖縄県 南風原町	
平成14年度認定	新潟県 新発田市	岐阜県 本巣町	愛知県 吉良町
	島根県 横田町	島根県 木次町	高知県 檮原町
	佐賀県 玄海町	熊本県 南小国町	

三省では、事業の情報公開を進めるために、これらの市町村における汚水処理施設の整

三省では、事業の情報公開を進めるために、これらの市町村における汚水処理施設の整備状況、放流水質の状況等を公表しているが、本年度は、平成 11 年度に事業認定した 2 町村のデータを取りまとめ公表することとした。

1．汚水処理施設の整備状況について

平成 11 年度事業認定の町村は、平成 15 年度末で事業完了を迎えるが、これら町村における、事業認定時点の汚水処理施設整備率、平成 13 年度末の汚水処理施設整備率、汚水処理施設の整備率目標値を取りまとめた（別紙 1）。

事業認定から平成 13 年度末までに、富山県婦中町において下水道が新規に供用開始されたほか、両町村において農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の整備も進められており、順次供用が開始されている。

平成 13 年度末の汚水処理施設整備率は、本事業着手前である平成 10 年度末と比較して 3 年間で急上昇しており、富山県婦中町で 49.4%、三重県美里村で 63.5%となった。

全国の汚水処理施設の整備率は、平成 10 年度末には 66%であったものが、平成 13 年度末では 74%になり、3 年間で 8 % 上昇したが、平成 11 年度事業認定市町村についてみると、この 3 ヶ年の間に平均で約 34% 上昇した。

本連携事業の実施により、汚水処理施設整備の促進が図られたといえる。

2．汚水処理施設からの放流水質の状況について

平成 11 年度事業認定町村の各汚水処理施設における放流水質を調査し、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、浮遊物質（SS）等各値を取りまとめた（別紙 2）。

下水道の年平均の放流水質は流域下水道の終末処理場 1 箇所の値であり参考値、農業集落排水施設の年平均の放流水質は 4 箇所の汚水処理施設で調査した結果である。また、合併処理浄化槽の放流水質は、総設置基数 487 基中 27 基で調査した結果である。

	p H	BOD (m g / l)	S S (m g / l)
下水道	6.8	6.1	1.6
農業集落排水施設	6.1 ~ 7.2	6.3 ~ 15.6	3.5 ~ 12.8
合併処理浄化槽	6.3 ~ 7.4	0.8 ~ 20.0	-

3．公共用水域の水質保全に向けた地域の取り組み

平成 11 年度事業認定町村では、施設整備の他に以下のような公共用水域の水質保全に向けた取り組みがなされている。

都道府県名	市町村名	公共用水域の水質保全に向けた地域の主要な取り組み
富山県	婦中町	パンフレットを作成し地区住民に対し説明会を開催
三重県	美里村	村広報誌等で PR

汚水処理施設連携整備事業の実施状況調査の結果

1. 汚水処理施設整備状況（普及率）

平成 11 年度事業認定

	富山県 婦中町			三重県 美里村		
	当初値	現在値	目標値	当初値	現在値	目標値
下水道	0.0%	27.4%	37.3%	0.0%	0.0%	26.7%
農業集落排水	1.0%	1.0%	4.9%	16.1%	34.6%	41.3%
合併処理浄化槽 (国庫補助事業)	2.3%	3.7%	4.3%	6.7%	12.6%	13.6%
その他	18.1%	17.3%	-	0.2%	16.3%	13.3%
合 計	21.4%	49.4%	-	23.0%	63.5%	94.9%

当初値、現在値、目標値 は、それぞれ平成 10 年度末、平成 13 年度末、平成 15 年度末時点。

2 . 汚水処理施設の放流水質の状況

平成 11 年度事業認定

富山県 婦中町

項 目	下水道	農業集落排水施設		合併処理浄化槽 (19 基)		
	神通川左岸 浄化センター	成子地区 汚水処理施設	道島地区 汚水処理施設	平均	分布	
処理水量 (m ³ /年)	5,691,224	12,474	15,347	-	-	
放流水質	p H	6.8	7.0	7.2	6.9	6.3 ~ 7.4
	B O D(mg/l)	6.1	6.3	8.3	11.1	2.0 ~ 20.0
	C O D(mg/l)	9.3	22.0	21.0	-	-
	S S(mg/l)	1.6	4.3	4.7	-	-
	全窒素(mg/l)	-	-	-	-	-
	全リン(mg/l)	-	-	-	-	-
	その他					

下水道の値は流域下水道の終末処理場の値であり参考値。

農業集落排水施設の処理水量は年間処理水量、放流水質は年平均値。

合併処理浄化槽は町内の総設置基数 320 基中のうち、水質データのある 19 基で調査。

三重県 美里村

項 目	下水道	農業集落排水施設		合併処理浄化槽 (8 基)		
	-	穴倉地区汚水 処理施設	北長野地区汚水 処理施設	平均	分布	
処理水量 (m ³ /年)	-	38,436	23,183	-	-	
放流水質	p H	-	6.9	6.1	7.0	6.8 ~ 7.3
	B O D(mg/l)	-	14.8	15.6	8.5	0.8 ~ 17.0
	C O D(mg/l)	-	14.3	18.7	-	-
	S S(mg/l)	-	3.5	12.8	-	-
	全窒素(mg/l)	-	-	-	-	-
	全リン(mg/l)	-	-	-	-	-
	その他					

農業集落排水施設の処理水量は年間処理水量、放流水質は年平均値。

合併処理浄化槽は町内の総設置基数 167 基中のうち、水質データのある 8 基で調査。

汚水処理施設連携整備事業実施市町村の概要

都道府県名	富山県	市町村名	婦中町
1. 市町村の概要			
<p>本町は、県都富山市の南西部に位置し、町の中心部には JR 高山本線、国道 359 号が走っており本県の中心的な位置にある。</p> <p>近年、富山市のベッドタウンとして、宅地開発が急増し、これに伴い人口も著しく増加している。</p> <p>このため、家庭雑排水等の増加による河川の水質汚濁が著しく、水質保全を主体とした環境保全対策が強く求められている。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 面積 68.04 km² <ul style="list-style-type: none"> 耕地面積 2,365 ha 山林原野面積 1,108 ha その他 3,331 ha ・ 人口 35,067 人（平成14年 4 月 1 日現在） ・ 世帯数 10,037 世帯 			
2. 公共用水域の保全に向けた地域の取り組み			
<p>本町では、公共用水域の水質保全並びに生活排水等による汚濁を防止するため、汚水処理施設をそれぞれの地域特性に応じた事業で整備する手法として、昭和 63 年度から下水道整備構想エリアマップの作業を進めてきた。</p> <p>下水道事業については、平成 5 年度から、市街化区域では、神通川左岸流域下水道関連公共下水道で、市街化区域以外では、神通川左岸流域下水道関連特定環境保全公共下水道で整備を実施している。</p> <p>また、農村地域については、平成 4 年度から 3 地区を農業集落排水事業で整備を実施している。</p> <p>上記以外の、集合処理が困難な場所については、平成 4 年度から合併処理浄化槽設置整備事業で鋭意整備を進めている。</p> <p>これらを連携することによって、効果的に公共用水域の水質保全を図れるよう、パンフレットを作成し、地区住民に対し説明会を開催し、PR 活動を実施している。</p>			

汚水処理施設連携整備事業実施市町村の概要

都道府県名	三重県	市町村名	美里村
1. 市町村の概要			
<p>本村は、三重県の中部山間地方地帯に位置し、県都津市の西方 15km にあって、地形は、北は経ヶ峰、東は長谷山、西は笠取連山に囲まれた山間盆地である。総面積の 73%を山林が占め、村内最高地点の標高 825m に対して、最低地点の標高は 60m であり、標高差が 765m にも及ぶ起伏に富んだ地形となっている。村の西南には長野川、北東には穴倉川が貫流し、集落及び耕地が、これらの河川沿い、河成段丘と山麓傾斜地を利用して点在している農山村である。</p>			
<ul style="list-style-type: none">・ 面積 50.31km²<ul style="list-style-type: none">耕地面積 478 ha山林原野 3,694 haその他 859 ha・ 人口 4,360 人（平成 14 年 4 月 1 日現在）・ 世帯数 1,325 戸			
<p>このような地形的条件から村全体の生活排水対策は、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置整備事業を地域の実状に応じて組み合わせている。</p>			
2. 公共用水域の保全に向けた地域の取り組み			
<p>生活排水等による水質の保全に関して、公共用下水道、農業集落排水の整備も順調に進んでおり、残された地域への整備推進に村広報誌等で PR している。</p> <p>また、公共下水、農業集落排水の整備が予定されていない地域では、合併処理浄化槽の普及による生活排水処理対策の推進に取り組み、下流域の環境に対する配慮を強化している。</p> <p>今後は、伊勢湾地域の水質を保全するため、下水道施設は高度処理対応が求められることとなるため、これへの対応を行っていく。</p>			